

フィールドマナー

～ 散策路・登山道などを歩くときは ～

- 安全と滞在を楽しむために
 - ・ 飲料水や帽子等を準備し、散策や山歩きに適した服装でお楽しみ下さい。
 - ・ 事故などは全て自己責任となります。十分注意してお楽しみ下さい。
 - ・ 喫煙は決められた場所で行ってください。
 - ・ 冬期間、閉鎖しているコースがあるので注意して下さい。
- すばらしい大地の特徴や地域の自然・文化を将来に残すために
 - ・ ごみは捨てずに必ず持ち帰って下さい。
 - ・ 木道や歩道から外れずに歩いて下さい。
 - ・ キャンプやたき火は決められた場所以外ではしないで下さい。
 - ・ 野生動物に出会ってもおどかさず、餌も与えないで下さい。
 - ・ 動植物や岩石、鉱物をとらないで下さい。
(法律で規制されている場合もあります。)



支笏洞爺国立公園
Shikotsu-Toya National Park
ここは国立公園です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

ユネスコが認定する洞爺湖有珠山ジオパークは、「滅亡文化」と「火山の恵み」を生かして持続可能な地域社会の実現を目指しています。

伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町

洞爺湖有珠山ジオパーク

Facebook



ホームページ



Instagram



洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会 事務局

〒049-5692

北海道虻田郡洞爺湖町栄町 58 番地 洞爺湖町役場内

☎0142-74-3015 ✉info@toya-usu-geopark.org

2021年3月発行

▲このラインでググりに折ると、ポケットに入るサイズで使えます。



Toya-Utsu UNESCO Global Geopark Walking Map

火山編

絶景をめぐる。

ユネスコ世界ジオパーク認定地
洞爺湖有珠山ジオパーク
散策マップ



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



Toya-Utsu
UNESCO
Global Geopark

*各コースに記載している時間は、大人が一人で歩く場合の、おおよその目安です。時間に余裕をもってゆっくり散策しましょう。

Toya-Usu UNESCO Global Geopark Walking Map

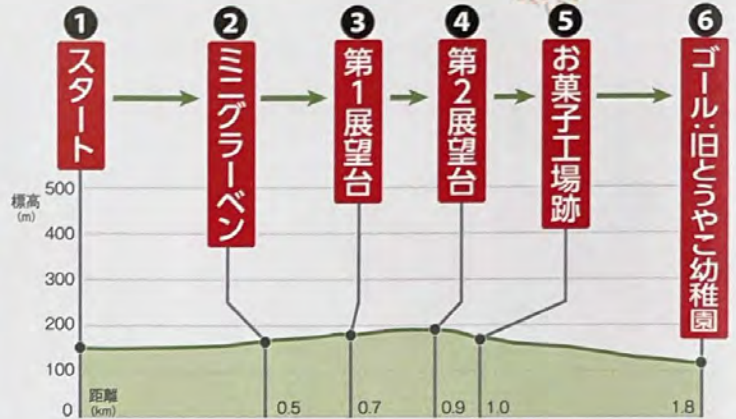
西山山麓ルート

人里、道路にできた火口をめぐる



オープン：4月下旬～11月中旬

2000年に国道230号線を遮るように噴火した跡、枕木を並べた散策路をたどります。国道の真ん中にできた巨大な池や、階段状のアスファルト、取り残された重機など、生活圏内で起こった噴火の迫力を感じるルートです。



コース全長
1.8km 1時間



金比羅山麓ルート

アクセス抜群、火山の迫力を体感



2000年の有珠山噴火の跡をめぐるルート。熱泥流が流れ込んだ公営浴場や公共住宅が砂防施設内にそのまま保存されています。少し足を延ばすと大きな火口の縁まで行くことができます。



コース全長
2.8km 1時間15分



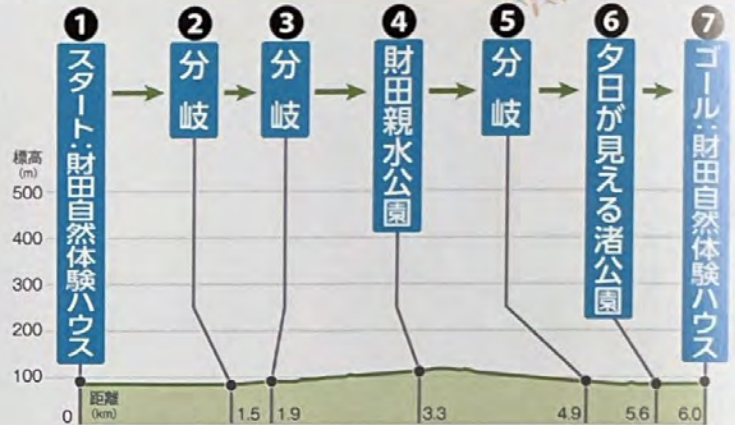
たからだ

財田・水辺の里ルート

のどかな自然の中でゆっくりしたい人におすすめ



川のせせらぎが心地よく、ウッドチップが敷かれた湖畔の道が歩きやすい癒しのルート。野鳥が多いのも楽しみの一つ。財田自然体験ハウスでは、洞爺湖の自然が学べます。



コース全長
6.0km 2時間

財田・水辺の里ルート



中島 1 周探検ルート

無人島に上陸、探検に出かけよう

洞爺湖温泉の棧橋から遊覧船で中島にわたり中島・湖の森博物館で受付してから散策開始。ぼったりシカに出会うことも。岩場もあるので足廻りはしっかり準備を。最終便の時間を確認し、それまでには遊覧船乗り場に戻りましょう。



コース全長
7.6km 3時間



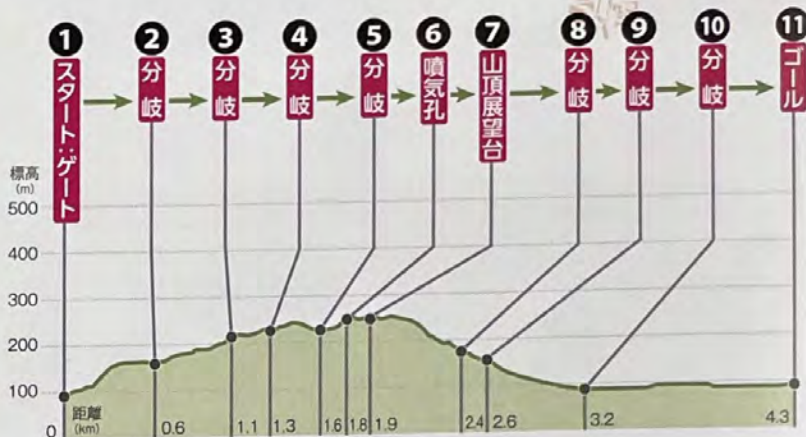
中島 1 周探検ルート



よそみやま 明治新山(四十三山)ルート

森林浴&明治の噴火を知りたいなら

温泉街からアクセスのよい、1910年の噴火でできた四十三山の火口を見に行くルート。森林浴や野鳥観察が楽しめます。起伏があるのでハイキング仕様がおすすめ。



コース全長

4.3km 2時間10分

明治新山(四十三山)ルート



洞爺湖有珠山パノラマルート

ロープウェイに乗って火の山を満喫



洞爺湖畔をスタートし、まずは1977年火山遺構公園へ。有珠山麓で昭和山を観察してから有珠山ロープウェイで山頂へ、素晴らしい展望が眼下に広がります。ここから先の外輪山遊歩道は火口が間近に見え迫力満点です。

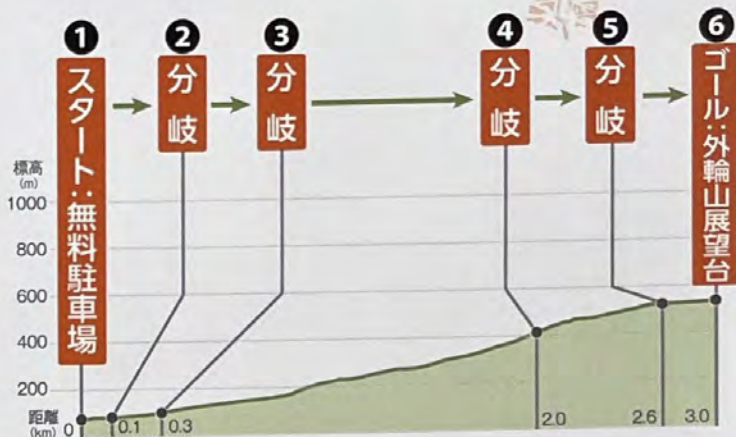


有珠山登山道ルート

火山の迫力とパノラマが楽しめる



有珠山に徒歩で登れる唯一のルート。火山の迫力と噴火湾や羊蹄山などの眺望が楽しめる外輪山まで登ります。ロープウェイからの下山道としても利用できます。



コース全長
3.0km 1時間30分



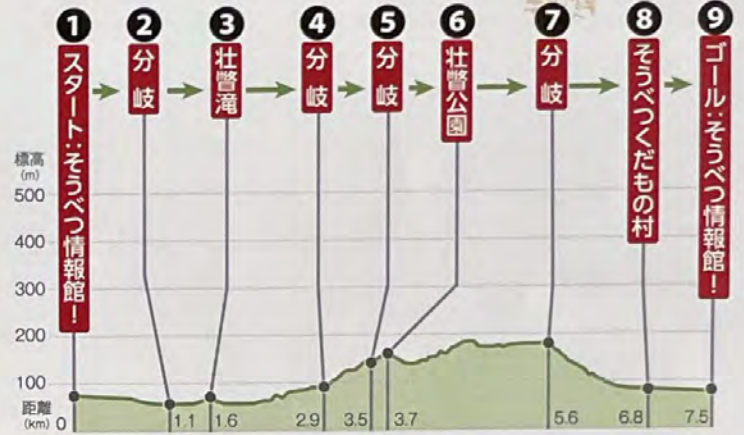
そうべつ

壮瞥公園と果樹園ルート

梅林と洞爺湖、羊蹄山の絶景を望む



道の駅そうべつ情報館i(アイ)を出発し、梅林の壮瞥公園に向かいます。梅の見ごろは5月中旬~下旬頃。7月からは観光果樹園「そうべつくだもの村」でフルーツ狩りもできます。



コース全長
7.5km 2時間30分

壮瞥公園と果樹園ルート



*各コースに記載している時間は、大人が一人で歩く場合の、おおよその目安です。時間に余裕をもってゆっくり散策しましょう。

洞爺湖有珠山ジオパーク

火山の迫力、自然・文化・食べものを楽しむジオパーク

洞爺湖有珠山ジオパークは、洞爺湖を中心としたジオパークです。北海道の南西部に、直径10 km程のドーナツ型の湖が見つかるでしょう。それが洞爺湖です。周囲を壁に囲まれて、まるで大きな鍋のような独特の景色が広がっています。今から約11万年前に起こった巨大な噴火の跡にできた窪地に、水が溜まってできた湖です。このようにしてできた湖を「カルデラ湖」と言います。

中央部には、中島と総称される無人島群があります。大小様々な山がいくつも集まってできています。この中島も、約5万年前に繰り返し起こった噴火によってできた地形です。地下から押し出された溶岩が固まってできた山で、「溶岩ドーム」とよばれるものです。

洞爺湖の南側には、有珠山があります。今まさに活動している火山で、噴気が立ち上り、むき出しの岩や荒々しい噴火の跡から、火山の迫力を感じられます。この有珠山は、1663年以降、明らかになっているだけで9回の噴火を起こしました。有珠山の山頂付近や麓では、くり返される噴火でできた多くの噴火口を見ることができます。時には町の中に火口や断層ができ、新しい山が誕生したこともありました。過去の噴火は様々な災害をひきおこし、人々の暮らしに影響を与えてきました。この災害の記憶を風化させないために、噴火による被害を受けた建物や道路などを丸ごと「災害遺構」として保全し、見学できる散策路にしています。



…でも、なぜ火山の噴火が起こる場所で人々は暮らし続けているのでしょうか？




有珠山の麓には、湧水の出る場所が多く、約1万年前から人が暮らしていたことが、考古学の研究で明らかになっています。また洞爺湖周辺の火山灰によってできた平らな台地は、日当たりの良い良好な耕作地帯や果樹園として利用されてきました。そして1910年の噴火がもとになって誕生した洞爺湖温泉は、年間70万人が訪れる北海道有数の温泉観光地です。これらは全て、火山の恵みです。海の生き物と火山も関係があります。1万年程前に起こった、有珠山の山崩れ(岩屑なだれ)は海まで達し、海岸を入り組んだ地形にしました。岩の隙間は貝やかニ、タコ等、海の生き物にとって格好のすみかになっています。これもまた火山の恵みです。火山から、これらの様々な恵みを得られることが、人々がここで暮らしている理由です。

この地域では、今後も火山との共生を考え続けていかななくてはなりません。これからも人が暮らし続けていくためには、噴火災害への備えが必要です。火山をよく知り、自然災害や防災について語れるガイドが案内するツアーは、この地域の大きな特徴であり、ユネスコ世界ジオパークとして評価を受けているポイントです。

火山が作った景色を楽しみ、おいしい火山の恵みを食べ、温泉につかって、私達が暮らす地球そのものに思いをはせる。それが洞爺湖有珠山ジオパークの楽しみ方です！

洞爺湖有珠山ジオパークには、火山の迫力、森・湖・海的环境、街や産業の魅力を楽しみ、学ぶことができる散策路が数多くあります。

火山編 絶景をめぐる。 

歴史・文化編 知りたい心を満たす。※別刷り

森とまち歩き編 身近な自然を楽しむ。※別刷り

この3つのテーマに分けて、くわしく紹介します。豊かな自然と大地の息吹、そこに暮らす人々の歴史・文化をぜひご堪能下さい。

洞爺湖有珠山 ジオパーク

